

基本評価シート

様式

北海道 苫小牧地域

(北海道胆振総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和5年度（2023年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（苫小牧地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	胆振総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	主任 藤田 翔	担当者連絡先	0143-24-9577
捕獲実施事業者	（認定を受けている） 受けていない） 有限会社大新	予算額（※2）	198,199,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	98,729,000円

- （※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。
 （※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。
 （※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
300頭	474頭	158%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
72万頭※ （個体数指数：東部137、北部121、中部107、南部353）	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
34,396頭（R4）	58,581頭（R4）	52,012頭（R4）

※令和4年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~15万頭の間と推定

鳥獣関係統計より

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>令和4年度のエゾシカ推定生息数は72万頭といまだ高水準にあり、農林業被害も深刻な状況である。また、エゾシカが関係する交通事故発生状況も増加傾向にある。</p> <p>市町村等でもこうした被害を防止するためにエゾシカ捕獲を実施しているが、捕獲圧の高まりによりエゾシカが鳥獣保護区などに逃げ込むようになり捕獲困難な状況が見られる。</p> <p>このため、鳥獣保護区や銃猟禁止区域など市町村等による捕獲が困難な場所にて、道が計画的にエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年12月21日～令和6年3月25日(※委託期間)
実施区域	<p>胆振 苫小牧地域 [苫東特定猟具使用禁止区域(銃)]</p> <p>苫東地域は、特定猟具使用禁止区域(銃)に指定され、平坦な土地に山林や湿原が広がり、恵まれた自然環境を有している。また、道内でも降雪量の少ない地域であることから、エゾシカの良好な生息環境となっており、通年で生息が確認されるだけでなく、越冬期には移動個体も苫東地域に集中するとみられている。</p> <p>苫東地域では、ブロッコリーや樹皮剥ぎの農林業被害が発生しているほか、エゾシカによる交通事故も多発し、工業地帯の輸送体制に影響を与えている。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所 実施区域に係る希少種等の情報提供や捕獲事業における情報共有を図る ・林野庁北海道森林管理局(胆振東部森林管理署) 捕獲事業における情報共有を図る ・苫小牧市、厚真町 地元関係機関、地権者等との調整や現地確認、手続等に対する助言、協力を行う。 ・北海道立総合研究機構(エネルギー・環境・地質研究所及び林業試験場) 捕獲方法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る
事業の捕獲目標	<p>(158%達成) = (474 頭実績値) / (300 頭目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他(捕獲現場にて立会)</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：アライグマの錯誤捕獲に備え、アライグマの捕獲許可を得た上で実施した) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、安全管理体制に係る内容を記載させ、関係者が参加する調整会議で内容確認を行った。</p> <p>捕獲の実施にあたっては、捕獲場所、実施期間及び捕獲方法について関係機関や周辺企業に対して周知を図った。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：7人、作業従事者：名 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：7人</p>

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価</p> <p>当該地域での事業実施は令和3年度以来だったこともあり、捕獲目標頭数は前回(R3年度)事業と同数の300頭とした。</p> <p>捕獲頭数は474頭と目標を大きく上回る結果となった。要因としては、警戒心が低い幼獣の捕獲割合が高かったこと、誘引餌(牧草)の誘引効果が高かったことが考えられる。</p>
	<p>改善点</p> <p>捕獲実績は目標を大きく上回る結果となったが、関係機関からは「減った実感はない」との声もあり、事業終了後においても当該地域ではエゾシカを多く確認できる。そのため、引き続き当該地域で捕獲事業を実施する必要がある。</p>
【実施期間】	<p>評価</p> <p>餌資源が乏しい冬期に実施することで、誘引餌による誘引効果が高まるため、実施期間は適切であった。</p>

	<p>改善点</p> <p>捕獲適期に実施したが当該地域のエゾシカ生息状況は高いため、実施時期を前倒し、非積雪期においても効率よく捕獲できる検証を実施するのが望ましい。</p>
【実施区域】	<p>評価</p> <p>胆振管内では最大規模の越冬地となっており効率的な捕獲が実施できること、地元市町や土地管理者の協力も得られることから、捕獲実施区域として最適である。</p>
	<p>改善点</p> <p>特になし</p>
【捕獲手法】	<p>評価</p> <p>事業計画段階で一部実施区域の捕獲時期の制限をした上での事業とした。そのため、くくりわなの移設が必要になったが、移設が容易なくくりわなは最適な手法であった。</p>
	<p>改善点</p> <p>仕様書上、くくりわなの設置基数を「200基」としたため、見回りに時間を要した。そのため、くくりわなの他、一度に複数頭捕獲できる「囲いわな」での実施を検討する必要がある。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価</p> <p>実施地域が広範囲であること、くくりわなの設置基数が多いことを踏まえ、見回り、止め刺し、回収・運搬など役割を明確にして効率的な事業実施に努めていた。</p>
	<p>改善点</p> <p>特になし</p>
【個体処分】	<p>評価</p> <p>捕獲個体全て、電気止め刺しにて止め刺しを行った。</p> <p>捕獲数 474 頭のうち、376 頭をペットフード用として有効活用できた。(有効活用率 79%)</p>
	<p>改善点</p> <p>特になし</p>
【環境配慮】	<p>評価</p> <p>錯誤捕獲に対応するため、アライグマの捕獲許可を得て、捕獲があった場合でも適切に対応できるようにした。</p>
	<p>改善点</p> <p>当該地域では、同様の配慮を継続して実施する必要がある。</p>
【安全管理】	<p>評価</p> <p>土地管理者の協力のもと、事業実施地域周辺企業に対して、事業内容説明チラシの配布を行った。</p> <p>また、くくりわな設置地点には、注意看板を設置するなどして注意喚起を行った。</p>
	<p>改善点</p> <p>当該地域では、同様の配慮を継続して実施する必要がある。</p>

3. その他の事項に関する評価及び改善点

特になし

4. 全体評価

当該地域は胆振管内最大級の越冬地であるため、事業を継続実施することで個体数削減に寄与すると考える。

ただ、土地管理者からは「減った実感はない」との意見をいただいていることから、冬期以外の捕獲も視野に入れて検討を進めることが望ましい。(当該地域は、ヒグマも生息していることから安全面には十分に配慮する必要がある)

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

目標頭数を大きく上回る捕獲結果となったが、当該地域では未だ高水準でエゾシカが生息している状況。

今後は、複数の捕獲手法を検討して捕獲事業を実施するほか、流入個体がどこから来ているのかなどの調査事業も並行して実施していくことが道エゾシカ管理計画の管理目標の達成に寄与するものとする。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は

除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹: _____ 人日

事前調査人日数概数※²: _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数: _____ 人日

項目	令和5年度 —(事業年度の値)—	令和4年度 —(前年度の値)—	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※¹:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※²:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※¹: _____ 333 人日

事前調査人日数概数※²: _____ 11 人日

出猟（捕獲作業）人日数: _____ 322 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	9,775 基日	0 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※¹:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※²:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	474 頭	0 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.58 (276/474)	0 (/)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.39 (185/474)	0 (/)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	474 頭	9,775 基日	0.05 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：2人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：376個体(ペットフード)

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体ごとに写真付きの捕獲個体記録票を作成させたほか、捕獲事業終了後に発注者による捕獲個体の尻尾の数量確認を実施した。

捕獲個体を有効活用した場合は、処理施設から発行された受取証を、廃棄処理した場合は、処分に係る明細票を報告させた。